

法人 理念

各世代が安心できる居場所を創るために、相互扶助のネットワークづくりを目指します。

基本 方針

- ①子どもの個性や多様性を尊重し、双方向の交流で人間力を伸ばします。
- ②どんな時も、明るく楽しく前向きに！をモットーに笑顔で活動します。
- ③私たちと同じ志を持つ人たちとの「対話と協働」を大切にします。



「こどもたちの未来を育むために — 多様な『場』を重ねる」

認定NPO法人つながるいのち 副理事長 上野信子



少子高齢化がますます進む中、こどもたちが家庭や学校のほかに、安心して自分らしく過ごせる居場所を求めるニーズは、ますます高まっています。私たちは毎月、こどもたちと一緒に四季折々野菜や果物を育て、畑作業を通していのちの恵みを学ぶ「農業体験」、収穫した野菜を使った手作りカレーをみんなで味わう「つながる食堂」、プロ棋士の指導を受けながら挑戦する「将棋教室」など、こどもたちの居場所となる「場」づくりに取り組んでいます。

空間×時間×目的(テーマ)で構成される「場」。都心部や住宅街では、いつでも使える「空間」を確保することは容易ではありません。そのような中、ありがたいことに、私たちは活動のための空間に大変恵まれています。そこで、放課後や夏休みなどの長期休暇中の学習、一人ひとりが自分らしく過ごせる居場所など、さまざまな目的をもつ多様な「場」を重ねて運営することで、こどもたちとの接点を増やし、大人とこどもたちのつながりを紡いできました。

しかし、活動が続ける中で、今、マンパワーと専門性という大きな壁に直面しています。場に集うこどもたちの数が増え、異なる学年やさまざまな個性をもつこどもたちが、安全に、そして自分らしく過ごせる場を継続して運営していくためには、多様な分野で豊かな経験をもつ大人の力と、こどもたちの困りごとに気づき、適切な声かけや対応ができる専門的な視点が欠かせません。あらためて、自治体、学校、地域、団体がさらに「顔の見える」つながりを築き、共にこどもたちを見守るネットワークの必要性を強く感じています。

こどもたちをはじめ、だれ一人取り残さない社会を実現するためには、関わってくださる人たちを「巻き込む力」が必要です。同時に、誰かの思いや活動に共感し、自ら一步を踏み出す「巻き込まれる力」も大切なのではないのでしょうか。

「専門的なスキルはないけれど、こどもの話を聞くのが好き」
「畑作業なら手伝える」

——そんなお一人おひとりの温かい思いを受け止めてつなぎ合わせ、多様な「場」を重ねてつくっていきながらこどもたち、大人たちの信頼を築いていけたらと思います。

大人も、未来を担うこどもたちも、それぞれのいのちを輝かせること。そして、私たち一人ひとりにできることを紡ぎ、その力をより大きなものにしていくこと。共に歩む仲間の輪に加わっていただけましたら幸いです。皆様の変わらぬご支援と、新たな出会いを心よりお待ちしております。



プロフィール：愛媛県松山市出身
ジャトー(株)執行役員
大阪公立大学 都市科学・防災研究センター 客員研究員(博士/創造都市)
元大阪市北区長

趣味はまちあるき。特に商店街めぐりを楽しむ。

つながるいのち「献血・骨髄バンクの支援活動」

理事 赤木 晴香

私は大阪府赤十字血液センターの献血ボランティアと骨髄バンク登録説明員として、休日にボランティア活動をしています。



活動のきっかけは、2017年春に兄が白血病を患い、多くの輸血と骨髄バンクドナーさんから骨髄移植を受けたときでした。兄は約1年の闘病の末に亡くなりましたが、その経験から、一人でも多くの患者さんを救いたいという思いで、活動を続けています。現在、当法人理事の松田さん、永見さんも骨髄バンク登録説明員として活動してくださっています。



船場モラロジー事務所の皆さんと献血活動



兄の骨髄移植 無菌室の様子

造血幹細胞提供(骨髄・末梢血幹細胞)には通院や入院など、ドナーさんに大きな負担が伴います。そのため安心して提供できる環境づくりを目指し、自治体へ骨髄バンクドナー助成金制度の導入を求める陳情活動にも取り組んできました。大阪府内では約半数の自治体で助成制度が導入され、ドナー支援の輪が広がっています。



白血病など血液の病気で毎年約2,000人の患者さんが造血幹細胞移植を必要としている一方、実際に移植を受けられる患者さんは約6割にとどまっています。より多くの患者さんを救うためには、献血や骨髄バンク登録の推進、支援制度の充実が欠かせません。献血は16歳から69歳まで、骨髄バンク提供は20歳から55歳まで可能です。今後も命をつなぐ活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



大阪マラソン2026完走
クリニック라운の皆さんと



魅力発信コーナー

おしらせ

今年も豊中市役所第一庁舎魅力発信コーナーで献血と骨髄バンクの展示をします。10/1(木)正午～10/30(金)正午までぜひお立ち寄りください。

スタッフ紹介 ①

監査 赤木 祐一

今年度から、監査を務めることになりました。一スタッフとして、活動の下支えができればと思っています。

普段は高校で教師をしています。空いた時間を利用したボランティア活動では、献血・骨髄バンクの推進・啓発に繋がる活動をしています。

「頑張る人を応援する」ということを信条に、日々生活しています。どうぞよろしくお願いいたします。



「国際ヨガデイ」に参画して

理事 松本 淳

6月21日(土)10時～京都梅小路公園で、国際ヨガデイ1000人ヨガイベントが開催されました。昨年、大阪・関西万博で開催されました1000人ヨガにおいて実行委員長を務めたことから、今年は来賓としてご招待を受け、運営のサポートもしながら ヨガにも参加させていただきました。



国際ヨガデイとは、2014年にインドのモディ首相が「ヨガは単なる運動ではなく、心と体、人と自然を調和させて、幸福への助けになる」と国連に提唱され、6月21日(もっとも日が長くなる夏至の日)に「国際ヨガの日」として採択され、毎年6月21日に世界各地でヨガの祭典が開催されています。



2025万博



2025万博

この日はヨガに馴染みのない人も気軽に触れるきっかけとなる、世界的な健康そして平和のイベントでもあります。

ヨガは、体を整えるだけではなく、呼吸を深めて自身の内側に意識を向けて、心を安定させ、自分らしい生き方にまでつなげてくれます。

京都でのイベントでは、インド総領事館との共催、京都府、京都市の後援もいただき、1000人の参加の皆さんと笑顔あふれる素敵な一日をご一緒できました。

そして、7月18日(土)のつながいのちの子ども食堂でも、農業体験の後に参加の皆さんと親子ヨガを楽しみ、心と体がつながり、そして人と人もつながる素敵な時間となりました！



普段の生活の中で、5分～10分でもヨガを取り入れて、自分とつながる時間も大切にしてみてください。

スタッフ紹介 ②

理事 石黒 修(オサミ)

ボクは多様な人たちと「つながりをつむぐ」ことを目的として任意団体「ボラストぽぽ」を設立し、多様な組織と人との掛け算で「ふうせんバレーボール」「多言語カフェ」等のプログラムを展開しています。

点をつないで線に、その線をつむいで平面に、平面を組み立て立体に……。組み立てるのは掛け算で。(一人ではできないもんなあ)「つながいのち」にお誘いいただき、まだ片足のつま先くらいしか入れてなくて、何とか両足が入るようにしなくちゃ……。

みなさんにいろいろと教えていただきながら「つながいのち」で掛け算ができるようにしたいなと思います。どうぞよろしくお願いします。



秋の活動のお知らせ

①壁絵プロジェクト第2弾を始めます！

地域コミュニティづくりを目的に壁に絵を描く「コクリエ」というグループがあり、昨年の9月にその代表の林まよこさんとの出会いがありました。コクリエと「NPO法人つながるいのち」が中心となり、そこにONCC、豊中モラロジー事務所と地域の人たちが加わって、「壁絵プロジェクト」が始まりました。

農園と民家の間の壁を5ブロックに分け、「自然とのつながり」をテーマに、豊中市の魅力資源も混ぜながら、昨年秋に延べ200人ほどが集まって壮大な絵を完成させました。「壁はコモンズ(共有地)を中心に人々がつながる」を実感させる取り組みとなりました。

今年の秋は、地下駐車場から玄関にかけての壁に絵を描く“第2弾”をスタートさせます。



②桂春蝶独演会

～歴史をつなぐ・いのちをつなぐ～

時は明治20年代。日本が欲と共に国際協調を失い、これ以上間違った方向に行かぬように、との啓蒙を「落語」という大衆芸能でできないか、と考えていたのは、渋沢栄一でした。渋沢はその想いを三遊亭圓朝に託し、圓朝はグリム童話であった「死神」を古典落語の名作に生まれ変わらせました。

主催は、大阪府北部モラロジー協議会で、「NPO法人つながるいのち」も連携協力します。歴史といのちをつなぐ春蝶さんの高座を、ぜひ心ゆくまでお楽しみください。

○ 日 時 : 11月12日(木) 10:00～12:00

○ 会 場 : 天満天神繁昌亭(貸し切り) 大阪市北区天神橋2-1-34

○ チケット代 : 1人3,000円(全席座席指定)

お申し込みは、メール(鈴木宛)かFAXをお願いします。

メール : kiyoshi.2617@gmail.com FAX : 06-6328-0002(北大阪生涯学習ホール)



編集後記

「つながるいのち」へのご支援・ご協力ありがとうございます。

・今回ご紹介した活動をはじめ、様々な活動が盛り上がりを見せており、色々な「出会い」と「つながり」が生まれています。(活動詳細は、下段のQRコードより「つながるいのちHP」をご参照ください)

これからも、「つながるいのち」の活動を通じて地域貢献に努めてまいりますので、みなさまのご支援とご協力をお願いいたします。(Y.I.)

会員のお誘いとお寄付のお願い

私たちの趣旨に賛同し一緒に活動して下さる会員とご寄付を募集しています。

★ご入会費用

会費の種類	入会金	年会費
正会員	5,000円	1口: 5,000円(1口以上)
賛助会員	なし	1口: 3,000円(1口以上)

★ご寄付

3,000円からお受けしております。
※ご寄付は、税控除対象となります。

◇ご入会・ご寄付の詳細は、右記のQRコードからご確認ください。



認定NPO法人つながるいのち

〒560-0021 大阪府豊中市本町7丁目4-23

Tel : 06-6858-0002

Mobile : 070-2825-6494(担当直通: 永見)

Mail : mail@tunagaru-inoti.or.jp

HP : <https://www.tunagaru-inoti.or.jp>

